（別紙3（2））

事業所名：グループホーム　いこいの里

作成日　：　平成　24　年　11　月　2　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	年6回の開催への取り組みは評価できる。委員も多分野からの方々で構成されているが、ホームに身近な存在である家族、入居者、職員も気軽に参加し、意見や考えを述べられるような体制作りの検討が望まれる。	いこいの里に関わる身近な方々への参加を促し、様々な意見や考えを述べられるような体制作りを目指す。	①出席が可能な利用者様への参加を促す。 ②ご家族様に運営推進会議の出席を促す。 ③職員への参加をより促す為に、議事録や資料を職員に回覧する。 ④必要に応じ、①②③の意見のアンケート調査や意見の聞取りや代弁を行う。	12ヶ月
2	35	多種多様な災害に備えて、マニュアル等の作成は評価できる。今後は夜間想定、避難完了までの必要時間、地域消防団参加の訓練等、更に掘り下げた訓練を期待する。	夜間だけではなく、様々な時間帯での訓練を、数値的な面を把握しながら行い、消防団に指導・助言等協力をいただきながら、災害への対応力を今よりも強化する。	①夜間、深夜、早朝等の時間帯を想定した訓練を行う（シミュレーション含む）。 ②緊急連絡網の演習を行う。 ③上記の訓練や演習の数値的な面を把握する（避難完了までにかかった時間の把握等） ④消防団にﾏﾆｭｱﾙや訓練内容を確認していただき、指導や助言等の協力をいただく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。